

第56回 神奈川県立高等学校PTA連合会大会
第4分科会 「キャリア教育」

キャリア教育における 保護者の役割



ソーシャルデザイン研究所

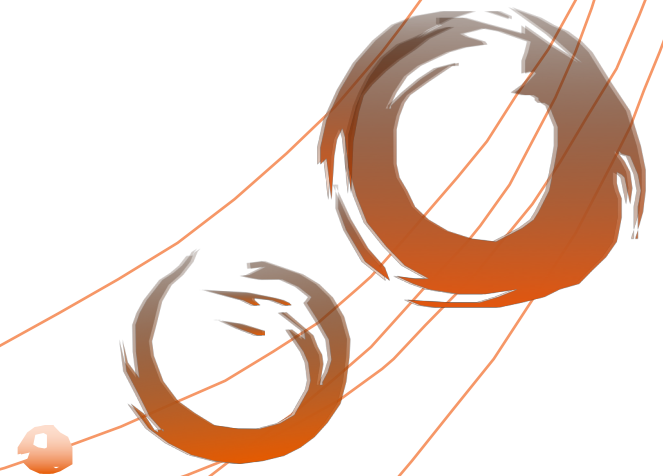
講師：池田千恵美

本日のテーマ

1. 今、なぜキャリア教育なの？
2. キャリア教育の現状は？
3. 保護者にできることとは？



1.今、なぜキャリア教育なの？



社会・産業構造の変化により

- ◆ 10年後に生き残れる職業は半分？
- ◆ 企業寿命 $\leq$ 個人の労働可能寿命？
- ◆ 人生100年時代をどう生きるか？



● 社会の変化とキャリア教育の歩み①

▶ 産業構造の変化・社会の変化

第2次産業革命
電気による工業化

製造業（大量生産・大量消費）

第3次産業革命
情報通信技術革命

→サービス業への移行
→新卒労働市場の縮小
→高卒就職の「代替」としての大学進学

高度経済成長
→安定期

バブル期
→バブル崩壊（1986.12 - 1991.2）

若者の雇用問題

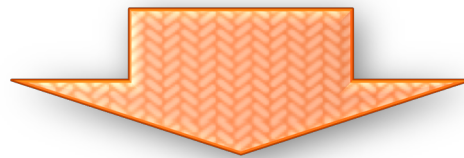
ニート・フリーター問題

失われた20年（1991-2011）

「キャリア教育」がやってきた

望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や
技能を身につけさせるとともに、
自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する
態度・能力を育てる教育

中央教育審議会（1999年12月）「今後の初等中等教育と高等教育の接続の改善について（答申）」



キャリア教育＝職業教育

● 社会の変化とキャリア教育の歩み②

➡ 産業構造の変化・働き方の変化

少子高齢化・グローバル化の加速

第3次産業革命
情報通信技術革命

第4次産業革命
技術革新

終身雇用制・年功序列の崩壊
→能力主義・成果主義
→女性雇用の拡大
→再雇用・定年延長
→外国人雇用の拡大

働き方改革

働き方の多様化
・テレワーク/リモートワーク
・副業/パラレルワーク
・同一労働同一賃金
・70歳定年延長

<IT革命>

人・もの・金・情報の垣根が
低くなり、グローバル競争加
速

<コアとなる技術革新>

・ビッグデータ・IoT
・AI・ロボット化など

- 求められる能力の変化
- 生き方の多様化

2011年

新「キャリア教育」の定義

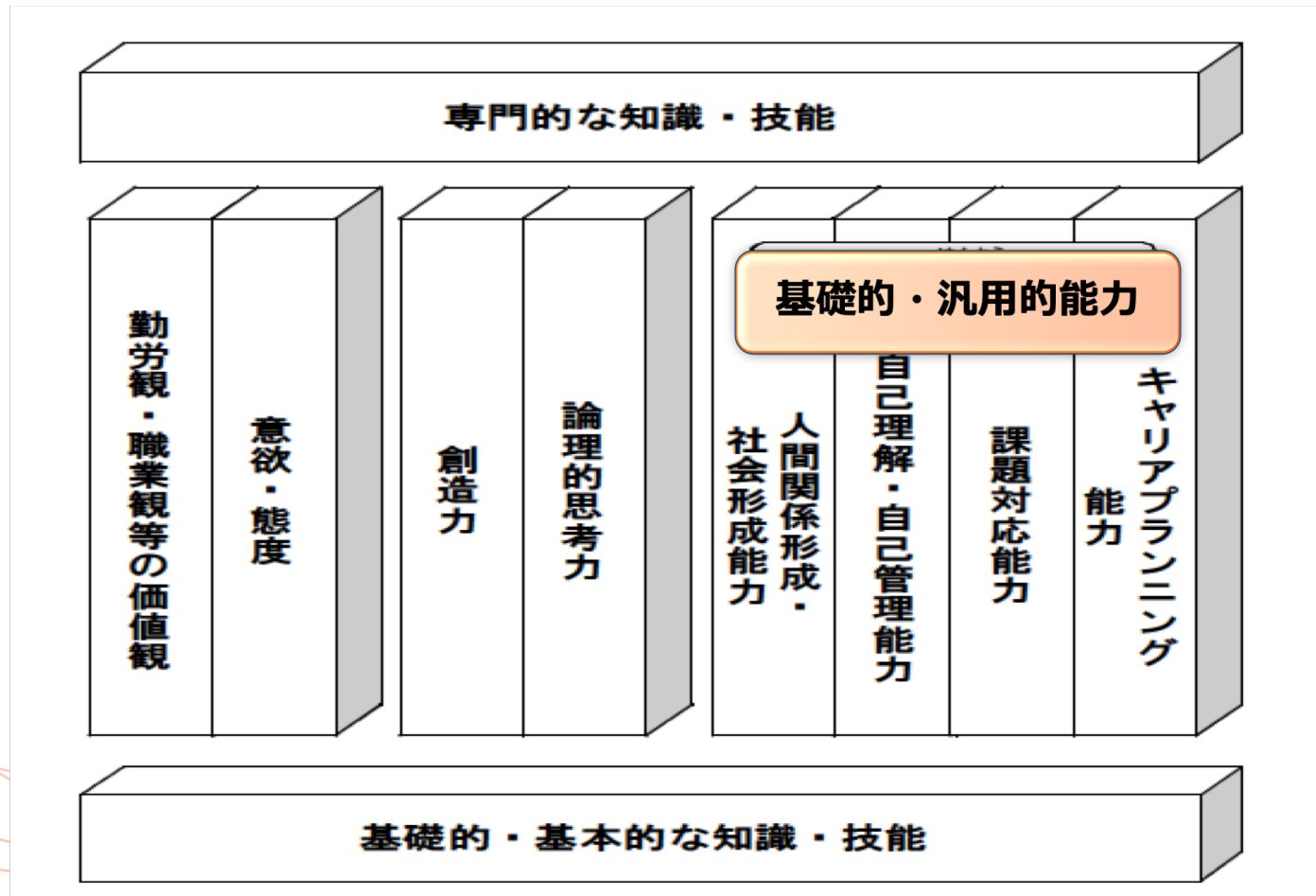
一人一人の社会的・職業的自立に向け、
必要な基盤となる能力や態度を育てることを
通して、キャリア発達を促す教育である

中央教育審議会（2011）「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」

- キャリア発達とは、社会の中で自分の役割を果たしながら、
自分らしい生き方を実現していく過程のこと

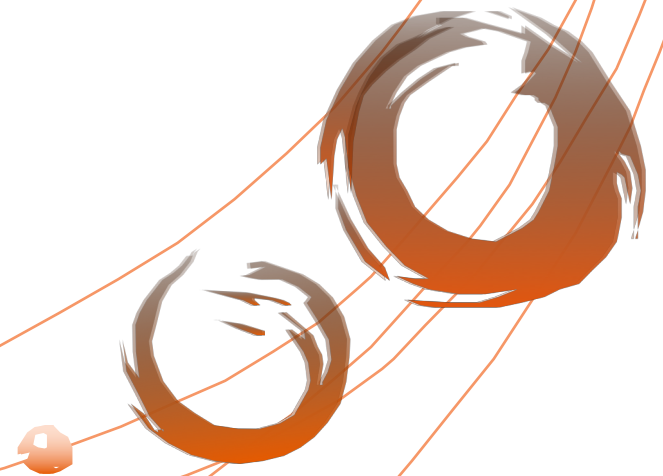
キャリア教育で育む力とは

「社会的・職業的自立、社会職業への円滑な移行に必要な能力」の要素



2.キャリア教育の現状は？

—進路選択とその先—



高校での進路指導の過去・現在

過去



- 乗れば目的地まで運んでくれる

現在



- 自分で目的地を決め、自分で道を選んで運転

● 高校での進路選択と進路指導

◆ 高校の出口の進路は多様

◆ 学校の種別も多様

◆ 子どもの発達も多様



生徒のタイプと進路指導

◆就職を選択する

- なりたいこと（仕事）がある（やりたいことや、得意を活かして）就職する
- 経済的に進学が難しいので就職する
- 勉強したくないから就職する
- 学力的に進学は難しいので就職する

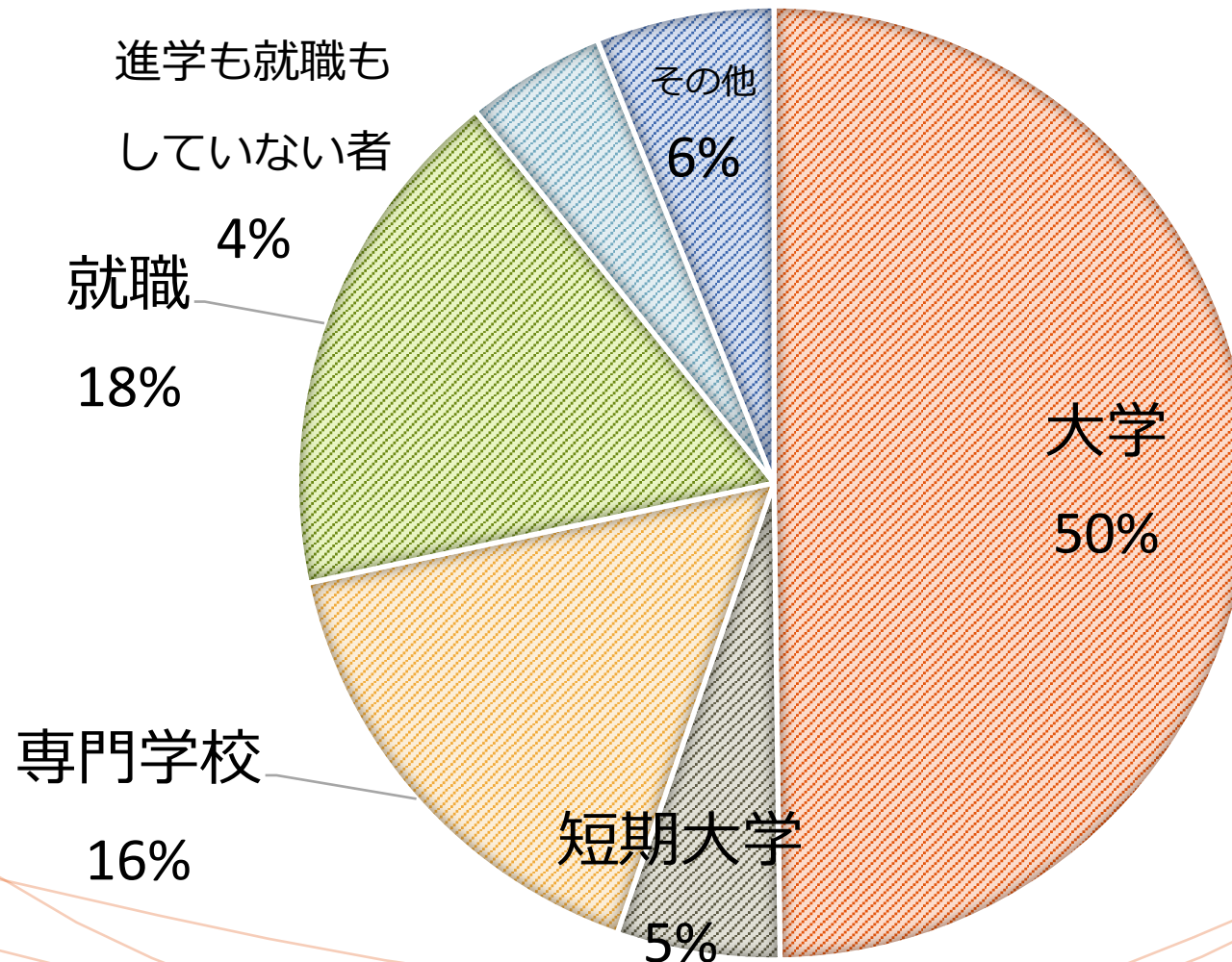


◆進学を選択する

- なりたいことがある ・ ・ 上級校へ進学しなければ、つけない仕事や新卒募集がない場合がある
- やりたいことは決まっていないが、勉強しながらやりたいことを見つけるために進学する
- やりたいこともないから、とりあえず進学する



高校卒業後の進路状況

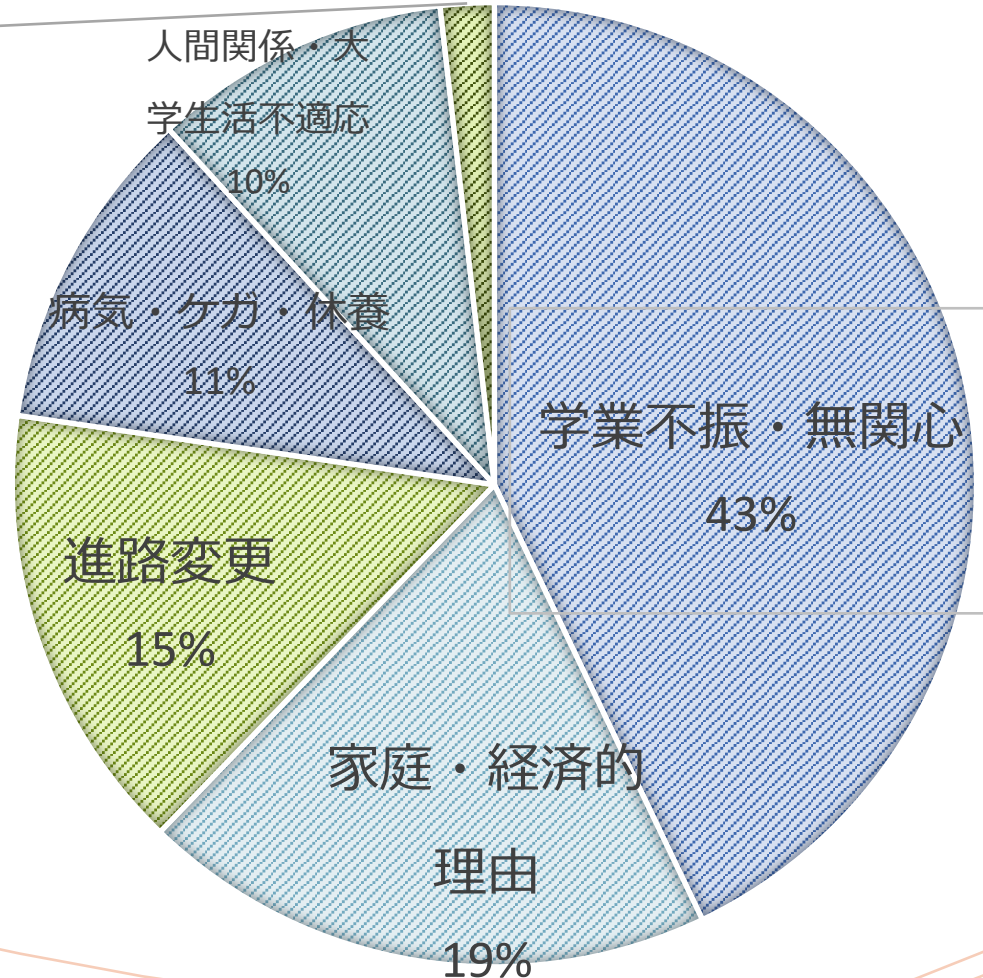


大学生の中退理由

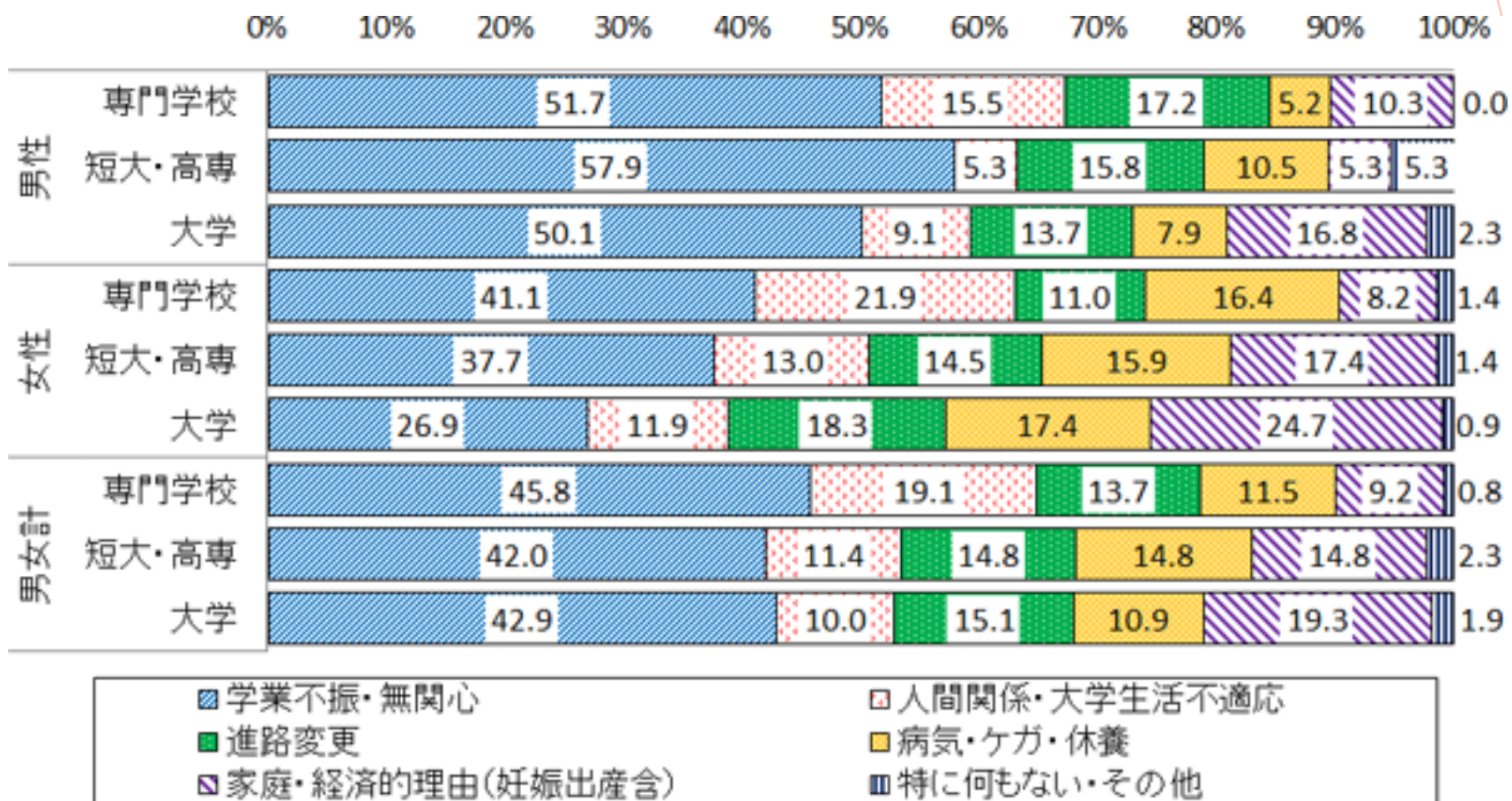
特に何もない・

その他

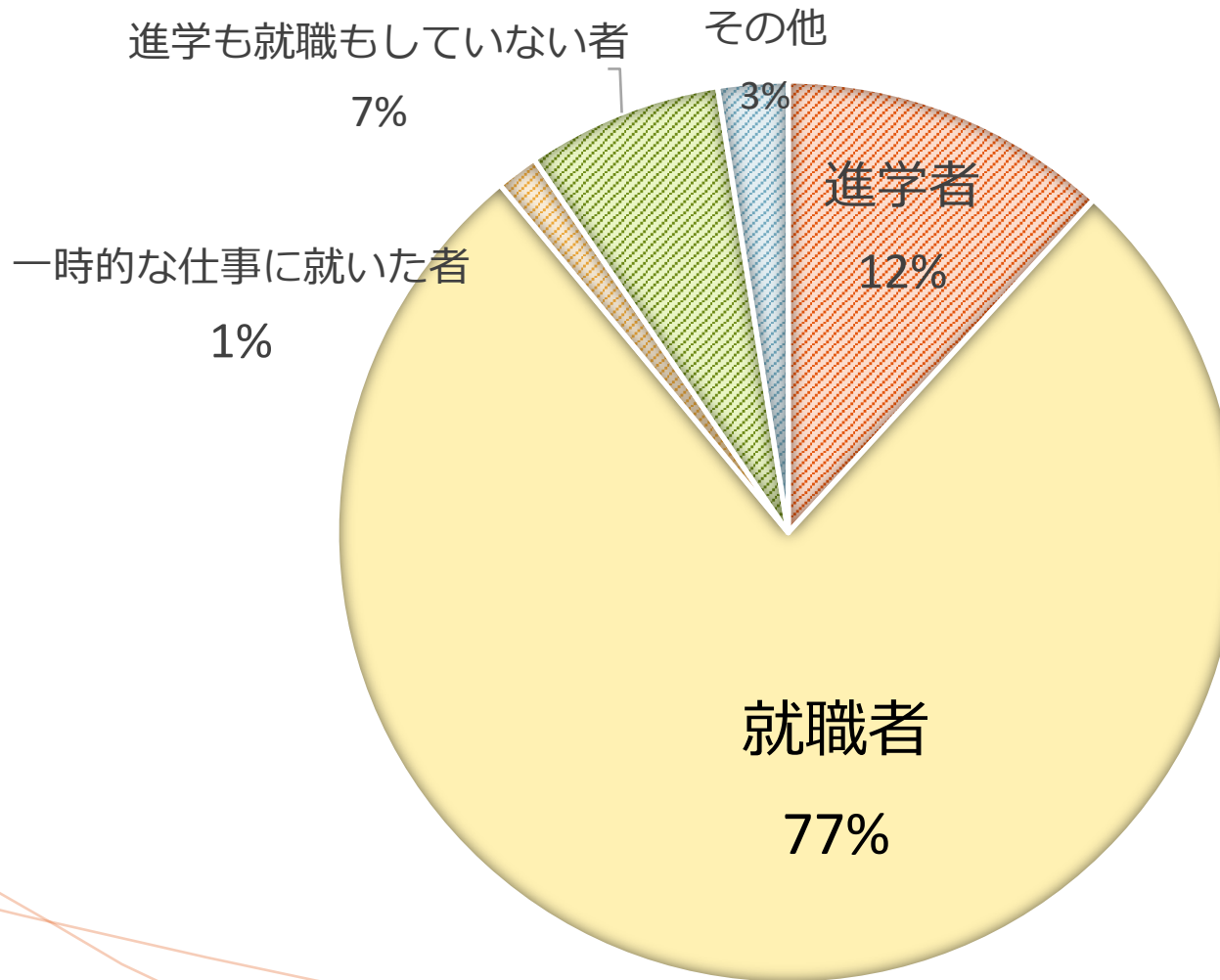
2%



進学先からの中退理由



大学卒業者の進路状況



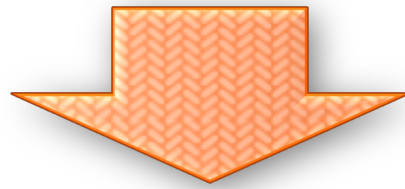
● 進学その先・就職その先

- ◆ 進学すれば、卒業するまで安泰か？
- ◆ 進路変更者は、意外と多い？
- ◆ 就職しても、高卒新卒者の離職率は？
- ◆ 離職後、どうやって次の仕事を探すの？



初期のキャリア教育から変容

- 「夢」 ・ 「やりたいこと」 探し
- 「適職」 ・ 「正社員」 のみを追求



不透明な時代を「生きる力」 ・ 「生き抜く力」 を身につける、育てる教育へ



新学習指導要領「生きる力」

- 知識・技能を身につけて試験などで評価される
これからの評価は→ それをどう活かすか

知識・技能
何を学ぶか
暗記重視



自ら考え・
判断する力
表現すること

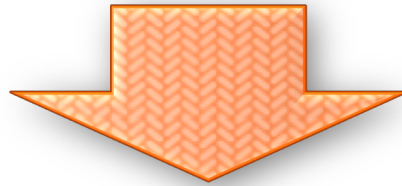


学んだことを
将来の生き方に
つなげる



キャリア教育の目標

自らの責任で『キャリア』を
選択・決定していくことができるように
必要な能力・態度を身につける



うまくいかなかった時でも、次につなげ
ることができる力を育んでおく

3.保護者にできることは？

—非認知能力を磨く—



あなたの家庭はどうでしたか？

正社員の若者・ニートの若者に答えてもらった・・・

- 叱られることが多かった
- しつけが厳しい方だった
- 門限が厳しかった



「あてはまる」が多いのは

	「当てはまる」と回答した多い方
叱られることが多かった	二一ト
しつけが厳しい方だった	正社員
門限が厳しかった	正社員

何が違うのだと思いますか？

→家庭にルールがあるか、ないか。

● 家庭でできるキャリア教育

■ 家庭は“小さな社会”

- ルール（約束）を決めて守る
- 家族の一員としての役割を担う

■ 規則正しい生活習慣

- 起床時間、食事など軸となる時間の設定
- 子どもが自分と向き合える時間を作る

日頃の生活の中での小さな達成感が

→ 自己肯定感を育てる

● 親がでできるちょっとしたこと

■ 挨拶と「ありがとう」

- 子どもに対して、挨拶や「ありがとう」「ごめんね」をしっかりと伝える

■ 子どもと一緒に考える

- 子どもの目線になることも意識し、「No」も受け止める
- 子どもと一緒に社会を知るという意識を持つ

子どもを一人の人格者として接する

→子どもの自立を促す

ご静聴ありがとうございました

